

授業科目

理学療法基礎評価学II

担当教員名 大鶴 直史、高橋 英明、齊藤 慧	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

理学療法の治療を実施する際、患者さんの問題点に対する確にアプローチする必要がある。その問題点の所在や程度を把握するためには、理学療法評価が必須である。本授業では、まず対象者との接遇面の重要性を理解したうえで、各種検査測定法の手順と各結果の関連性や解釈の仕方を学習する。

授業の目的

各種検査測定方法の基礎的な知識と実施手順を修得し評価全体の流れを把握する。そして、理学療法評価や治療を実施するうえで、医療面接や情報収集、評価結果の統合と解釈が重要であることを理解する。

学習目標

オリエンテーションも含めて、各種検査測定方法の手順に慣れ、結果の正しい解釈と説明ができる。そして、各評価結果や医学的情報などの結果を統合し問題点抽出までの思考過程が重要であることを理解する。また、カルテの記載方法や症例報告書の書き方を通じて、自身の思考過程を整理・再確認することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1.2	理学療法評価の展開	講義：医療面接、情報収集、評価結果の統合の仕方	高橋 英明
3.4	バイタルサインとリスク管理	講義および演習：血圧、脈拍、体温、呼吸数	大鶴 直史
5.6	神経系検査（1）	講義および演習：協調性検査	大鶴 直史
7.8	神経系検査（2）	講義および演習：感覚検査	大鶴 直史
9.10	神経系検査（3）	講義および演習：疼痛検査（問診・検査方法と疼痛メカニズム）	大鶴 直史
11.12	神経系検査（4）	講義および演習：反射検査	齊藤 慧
13.14	神経系検査（5）	講義および演習：片麻痺機能検査	齊藤 慧
15.16	神経系検査（6）	講義および演習：脳神経検査	齊藤 慧
17.18	神経系検査（7）	講義および演習：バランス検査	齊藤 慧
19.20	神経系検査（8）	講義および演習：筋緊張検査	高橋 英明
21.22	姿勢・動作分析（1）	講義および演習：姿勢分析	高橋 英明
23.24	姿勢・動作分析（2）	講義および演習：基本動作分析	高橋 英明
25.26	姿勢・動作分析（3）	講義および演習：歩行分析	高橋 英明 他
27.28	カルテからの情報収集と記載方法	講義および演習：臨床検査データの確認、画像所見の確認、カルテの記載方法	大鶴 直史
29.30	症例報告の実際	講義および演習：症例報告の書き方	齊藤 慧

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	神経診察クローズアップ 正しい病巣診断のコツ	鈴木則宏（編）	メジカルビュー社	2015年	7,000円＋税	
	ビジュアルレクチャー 理学療法基礎評価学	臼田 滋（編）	医歯薬出版	2014年	4,500円＋税	
	PT・OTのための測定評価DVD Series 7 片麻痺機能検査・協調性検査	伊藤 俊一、久保田 健太、隈元 庸夫	医歯薬出版株式会社	2014年	3,800円＋税	

参考書	リハビリテーションリスク管理ハンドブック	亀田メディカルセンター	メジカルビュー社	2008年	4,200円 +税	
その他の資料						

評価方法

実技試験（50%）および筆記試験（50%）の合計点で評価する。

履修上の留意点

対象者は、急性期で精神的にショック期であったり、高齢者であることが想定されます。したがって、検査測定 of 技術に関しては、実施手順だけでなくオリエンテーションも含めて、対象者に合わせた接遇態度が求められます。授業場面でも適切なオリエンテーションが実施できるよう心掛けてください。

オフィスアワー・連絡先

【大鶴】月～木 12:00～13:10、otsuru@nuhw.ac.jp

【高橋】月～金 13:10～18:00（第2・3水曜日と第4木曜日を除く）、hideaki-takahashi@nuhw.ac.jp

【齋藤】火・金 10:00～13:00、kei-saito@nuhw.ac.jp